

「音楽医療研究」投稿規程

1. 本誌は、医療と音楽およびその関連領域に関する論文記事を掲載します。
2. 投稿原稿は、筆頭著者が日本音楽医療研究会員（共著者も会員であることが望ましい）であり、他誌へ未発表のものを受け付けます。依頼原稿の場合は、非会員のものも受け付けます。
3. 論文の投稿に当たっては、筆頭著者が共著者全員の承諾を取って下さい。
4. 論文の種類は、原著論文、症例報告、総説、掲載論文に対する質疑や意見とします。総説は編集委員会からの依頼による場合と投稿による場合に分けます。前者の場合、編集委員会の審査を経た後、受理されます。後者の場合、他の論文の採択条件と同様です。
論文の採択は 2 人以上の査読を経て編集委員会で決定します。原稿の訂正を求めることがあります。
5. 本誌に掲載された論文等の著作権は、日本音楽医療研究会に帰属します。本誌に掲載された論文等は、当会のホームページ、当会が認めたネットワーク媒体に掲載、出版（電子出版を含む）出来るものとします。
6. 論文の投稿に当たっては、プライバシー保護のため、患者は症例番号（例. 症例 1、症例 2）で表し、名前、頭文字、病歴番号などの患者を特定できるような情報は使用しないで下さい。患者の顔写真や音声・映像を使用する場合は、可能な限り目を隠したり解像度をぼやけさせたりすることで個人が同定されるリスクを回避するよう留意し、掲載の許可を得た旨を論文中に記載して下さい。
7. 原稿は、マイクロソフトワードを使用し、用紙設定は A4、フォントは日本語の場合は MS 明朝、アルファベットの場合は Times New Roman、横書き 1 段組み、フッターとヘッダー（ページ番号）はなし、1 行の文字数 35、1 ページの行数 35、行間 1.0、字間隔は標準、文字の大きさなどは論文の実例を参考にその様式に従って作成して下さい。要旨の後に日本語のキーワードを、英文 Abstract の後に英文のキーワードを、各々 5 つ以内あげて下さい。
8. 原著論文か症例報告かの判断は編集委員会に一任して下さい。
9. 論文の第 1 ページ目に、論文標題、著者の姓名、所属、職名、住所、メールアドレスを明記して下さい。
10. 論文の構成は、下記のようにまとめて下さい。
研究論文：要旨（抄録）－英文抄録（200 語以内、英語を母語とする人の校閲を受けて下さい。校閲先は事務局でもご案内しますので、お問い合わせ下さい。）－本文（序言－対象・方法－結果－考察－文献）－図・表・音声・映像－図・表・音声・映像の説明
症例報告：要旨（抄録）－本文（序言－症例－考察－文献）－図表音声映像－図表音声映像の説明

掲載論文に対する質疑や意見：特に形式はありません。

11. 論文の第2ページ目に、要旨（抄録）を300字以内で記述して下さい。5語以内のキーワードを抄録（要旨）の後につけて下さい。

12. 人名、薬品名、地名などの外国語は原語表記にして下さい。

13. 表はマイクロソフトワード又はエクセルで作成して下さい。図・音声・映像は、容量が大きくなりすぎないように適正な解像度で作成し、図はtif、jpegで、音声や映像は.wmv .flv .wmx .smil .smi .mvp .rmi .rm .ram .qt .mpg4 .mpg .mpeg4 .mpeg .mp3 .mp4 .mov .m4v .mlv .dv .avi .asf .3gpp .3gp .3g2で投稿して下さい。プロパティをみればファイル形式を確認できます。ファイル形式について不明の場合は、原稿送付先までお問い合わせ下さい。

14. 文献の書き方は「附）文献の書き方の実例と注解」を参照して下さい。

15. 原稿および図版などは、とくに申出がなければお返しいたしません。

16. 著者校正は原則として1回だけです。

17. 原稿送付先

下記にできるだけメール添付で送って下さい。CDやDVDの場合は、郵送して下さい。

日本音楽医療研究会

〒514-8507 三重県津市江戸橋 2-174

三重大学大学院医学系研究科認知症医療学講座内

Eメール: jmm-office@umin.ac.jp

附）文献の書き方の実例と注解

イ）記載順は引用順とし、本文中に（1），（2），（3）と記し、文献欄に下記の要領で記載して下さい。

ロ）雑誌の場合：著者名． 標題． 雑誌名 発行年（西暦）； 卷：最初頁-最終頁． 外国誌はPubMedによる略名を用いて下さい。

ハ）単行本の場合：著者名． 書名． 版数． 発行地： 発行社， 発行年： 引用頁

ニ）著者数が6人以下なら全員を記す。7人以上の場合は、最初の3人のみを列記し、それに「ら」、「et al.」を附記して下さい。

ホ）著者と著者の間にはコンマを入れる。and, und, et, &などを用いないで下さい。

実例（a） 雑誌：一般的な場合

田中一郎，鈴木博，山田次郎，ら． 自閉性障害の2症例—音楽と言語に対する反応—． 音楽医療研究 1980; 12: 353-358.

Duffy FH, Denckla MB, Bartels PH, Sandini G, Kiessling LS. Dyslexia: automated diagnosis by computerized classification of brain electrical activity. Ann Neurol 1980; 7: 421-428.

実例（b） 雑誌：グループ執筆

日本小児科学会新生児委員会. 新生児に関する用語についての勧告. 日児誌 1980; 84: 597-598.

Committee on Genetics of the American Academy of Pediatrics. Prenatal diagnosis for pediatricians. *Pediatrics* 1980; 65: 1185-1186.

実例 (c) 単行本やモノグラフ: 個人著者

坂本吉正. 小児神経診断学. 東京・大阪・京都: 金原出版, 1978.

O'Donohoe NV. *Epilepsies of childhood*. London etc: Butterworths, 1979: 149-61.

実例 (d) 単行本: 編集

市川三郎, 編. 神経学の基礎. 東京: 医学出版社, 1979.

Gomez MR, ed. *Tuberous sclerosis*. New York: Raven Press, 1979.

実例 (e) 単行本のある章

南花子. 筋生検. 北秀雄, 編. 筋疾患の検査. 神経科学 Mook 12. 東京・大阪・京都: 医学出版社, 1980: 203-213.

Dodson WE. Pharmacology and therapeutics of epilepsy in childhood. In: Klawans HL, ed. *Clinical neuropharmacology*. Vol. 4. New York: Raven Press, 1979: 1-29.

実例 (f) 翻訳書

Swaiman KF, Ashwal S, 著, 中川太郎, 監訳. 音楽の起源. 東京: 音楽出版社, 1980.

2016年11月13日改定